

ふぁみいゆだより

第35号

社会福祉法人瑞穂会
ふぁみいゆ行田
行田市大字下須戸75番地
TEL 048-559-4165
ふぁみいゆ東館
行田市大字下須戸65番地1
TEL 048-559-5561
令和5年5月発行
発行責任者 藤井尚子
<http://famille-gyoda.com/>



Welcome 介護人材!

ふぁみいゆ行田 施設長 藤井尚子



ふぁみいゆ行田の園庭には、今年も陽光桜が美しく開花しました。明るい笑顔で花を見上げているのは、ミャンマーから来日した介護スタッフのミヤウエイーさんとストウエーさんです。日本では様々な業界で人手不足が顕在化していますが、介護業界では更に深刻な状況を迎えています。ふぁみいゆ行田でも、限られた人員体制の中で職員一同協力し合い励まし合いながら懸命に努力して参りましたが、昨年度は二度にわたる新型コロナのクラスターに見舞われ、人員体制に深刻な影響を受けることとなりました。

2年前に公表された第8期介護保険事業計画によりますと、介護人材の必要数は2023年度にプラス22万人、2025年度に32万人、2040年度には69万人に達すると予測されています。

これを受けて国では、

1. 介護職員の処遇改善
2. 多様な人材の確保・育成
3. 離職防止・定着促進・生産性向上
4. 介護職の魅力向上
5. 外国人材の受入環境整備

など、総合的な介護人材確保対策に取り組むことを表明しています。

ふぁみいゆでは、この取り組みに先駆けて3年前から外国人材の受入れに取り組んで参りました。故郷を離れて来日し、文化や言語の違いを乗り越えて「日本で介護の仕事をしたい」と、日本人スタッフに学びながら、ひたむきに、意欲的に介護業務に取り組んでいる8名の彼らに期待を寄せ、これからの介護老人福祉施設の運営を進めて参りたいと思っています。



ふぁみいゆ行田の玄関花

入 職 式



4月3日、新入職員6名をお迎えし、入職式が開催されました。

理事長からの挨拶の後、新入職員の皆さんから一言ずついただいた言葉は、希望にあふれ、参加した全員の心を明るくしてくれました。在職職員からの自己紹介や新入職員へのエールが続き、会場は温かい笑顔で包まれました。施設長より歓迎の言葉が贈られ、今後の施設運営に対する抱負が語られました。館長からは、共に歩もうという力強いメッセージが送られました。

新しい環境に慣れるまで不安や緊張を伴うものだと思います。私たちは新入職員の皆さんが不安を感じないように、スタッフ同士が支え合い、同じ未来を見つめて歩いて行けるように職場環境の整備に努めたいと思います。

ふあみいゆ行田副施設長 / 施設ケア課長 近藤慶一

外国人の活躍に期待



介護施設の人材不足が問題になっておりますが、そのような中、ふあみいゆ行田で7名、ふあみいゆ東館では1名の外国人スタッフが活躍しております。

異国から来られ、文化の違いや言葉の壁もたくさんあります。

利用者様は、それぞれのお国言葉なまりやイントネーションなどの違いもあるので、聞き取りや理解することが難しいこともあるようですが、いつも笑顔で明るく、前向きに接してくれています。日本語や漢字での記録に苦戦しながら仕事を覚え、一生懸命に取り組んでいる姿に心打たれます。

日本人も外国人も、同じ高齢者の生活をサポートする仲間として、力を合わせて今後も頑張っていきたいと思います。

施設ケア課長補佐 鈴木真理

手作りおやつ

利用者様に毎回好評をいただいている月一回の手作りおやつをご紹介します。

4月は、【いちご桜餅】を作りました。道明寺粉を蒸して餅を作り、それにあんこや桜の葉を包んでいきます。桜の葉の香りが良いアクセントになり、あんこの甘みといちごの酸味が絶妙にマッチしていました。見た目にも華やかで、春の訪れを感じる季節にピッタリのおやつになりました。



和菓子から洋菓子、中華におよぶ手作りおやつは、毎回利用者様と職員との交流の機会となり、コミュニケーションの活性化にも繋がっています。調理スタッフにとっても

調理の幅を広げ、スキルアップに繋がっています。今後も手作りおやつで、利用者様の満足度向上と調理スタッフのモチベーションアップの相乗効果を図って参ります。

栄養課長 / 管理栄養士 小澤まゆ美

栄養課イベントメニュー

栄養課では施設の行事やイベントに合わせたメニューを用意しています。日本の食文化や季節感を取り入れ、食生活を豊かにしていけるよう工夫しています。

写真(左)は3月にご提供した行事食「ちらし寿司」です。刺身やショウガ、錦糸卵などをトッピングして、桃の節句にふさわしい華やかな和の雰囲気を楽しんでいただきました。

写真(右)は月に一度ご提供しているHAPPYメニューです。調理スタッフが献立も提案し、調理方法や食材選び、調味料の使い方まで工夫をします。



4月のHAPPYメニューは小森谷調理師が考案した「スープカレー」でした。スパイスの量や種類、肉や野菜の調理法にもこだわり、とろみのあるスープに仕上げました。心をこめて調理したスープカレーは一口食べるとスパイスと旨味が口いっぱいに広がり、利用者様を笑顔にしました。それを見た調理スタッフもHAPPYになり、両者をHAPPYにしたメニューでした。

栄養課長補佐 / 管理栄養士 藤原富男

ふぁみいゆ行田の暮らし

こすもすユニット ご希望をとり入れた暮らし



こすもすユニットでは「出来ること、やってみようこと」を生活の中に取り入れられるように、生活のサポートをさせていただいております。

「自分の力で歩いてカーテンを閉めたい、紙芝居を練習して聞かせたい」など、できないことが増えてしまう悩みではなく、「今できること」に取り組むことで、利用者様の自信と笑顔を引き出せることが日常生活の中に取り入れられたら、と思っております。

こすもすユニットリーダー 鈴木真理

さくらユニット 晴れた日には散歩が一番



4月のある晴れた日、ボランティアの方と一緒に散歩へ出かけたY様。紫色の花をみて優しい笑顔を向けられていました。

散歩から戻ってくると「紫色の花がきれいに咲いていたんだよ」とひとしきり散歩の話に花が咲きました。

さくら・はくれんサブリーダー 椎根尚也

すずらん・ききょうユニット 若いパワーに期待！



令和5年度の4月より、新しい若手の職員が仲間入りしました。すずらん・ききょうでは2名の新人が配属となり、日々若さのパワーを分けていただきながら仕事をしています。

新人の成長をそばで感じながら、仕事ができることがうれしく思います。

介護の楽しさや大変さを分かち合いながら、利用者様のため日々ケアを行っていききたいと思います。

すずらんユニットリーダー 山崎史昭

ききょうユニット 植物や鳥との関わり



お花を育てることが上手で、生き生きと育たないお花も、S様の手にかければ見事に生き返り、きれいなお花が咲きます。

また、なぜか鳩にも好かれていられるらしく、S様の居室から見えるハナミズキの木に巣を作っている鳩の姿が見えることもあります。

ききょう・すずらんサブリーダー 松本星奈

さざんか・こぶしユニット 種植え



春の訪れとともに気温も上がり、私たちは野菜や花の種を播いて、育て始めました。「大きくなったね」と毎日成長を遂げる植物に自然とユニット全員が声をかけ、楽しみながら日々を過ごしております。成長していく植物たちの姿を励みに楽しみを忘れず、利用者様に寄り添った生活支援を続けていきたいと思っております。

さざんかユニットリーダー 井上翔子

はくれんユニット コノハサクヤ姫降臨！



5月4日、利用者のK様のもとに「さきたま火祭り」の『コノハサクヤ姫』に選ばれたお孫さんが面会に来て下さいました。

ご家族に囲まれ嬉しさで涙ぐまれるK様を優しく見守るお姫さまの姿に、周囲のスタッフも思わず笑顔になりました。火祭りも再開されたことですし、ご家族との面会ももっと増えていくといいなと思っておりました。

はくれんユニットリーダー 久保田美和

ゆり・りんどうユニット 毎朝の習慣



毎朝の習慣で新聞を読みに行かれるK様。「読みに行かなくちゃ一日が始まらない。最近は温かくなってきたから急がないでゆっくり読めるよ」と笑顔で話されています。

窓から見えるお花や天気の良い日に見える赤城山も一緒に楽しみながら過ごされています。

ゆりユニットリーダー 近藤沙織

東館 7年目の春を迎え

ふぁみいゆ東館 館長 野口清美



「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」文豪・川端康成の「雪国」の冒頭です。「新型コロナウイルス感染症の長いトンネルを抜けると自由と安心であった」と置き換えてほしいのですが、新型コロナが終息するには人類の7割が免疫を持つ必要があります。承認された「ゾコーバ」も専門家の間では半信半疑。その為には人類の7割近くが感染、若しくはワクチン接種が必要です。また、早期に投与すればほぼ治る、そんな特効薬が来ている必要があります。5月8日から5類になってもコロナは終息を迎えただけではございません。引き続き必要最低限の感染対策に努め、地域高齢者も含めお守りしていきたいと思っております。さて、コロナ禍による戦々恐々とした生活から東館は一步を踏み出し始めております。縮小・制限していた行事やイベントを、今年度は感染対策を図りながらコロナ前と同等の規模で考えております。利用者様だけに留まらず、ご家族様や地域住民の方にどれだけ喜んでいただけるか、「ふぁみいゆがあってよかった」と思っていただけのように、未来に花を咲かせたいと思っております。是非、ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。



「念」という文字は「今」の「心」と書きます。「念」とは今、目の前にいる人、目の前にある事を大事にする心の事です。コロナクラスターの発生…と「過去」を悔やむことなく、再びクラスターの発生…と「未来」を心配することなく、念を入れて生きていきたいと思っております。念を入れた生き方は、必ず「東館の未来」につながる事を信じて、日々の暮らしを充実させていきたいと考えております。

東館の新しい仲間を紹介



令和4年5月にミャンマーからラ・ピエイ・アウンさんが入職しました。利用者様から「笑顔が可愛い」「すぐに助けに来てくれる」という声も聞かれとても人気者です。

昨年度に雪が降った際には生まれて初めて雪を見たとても感動していました。まだ慣れないことも多いですが、少しずつ日本の文化、言葉にも慣れていってほしいと思います。

令和5年4月には、折原愛深さんが実習後、東館の雰囲気を入り込んで下さり、アルバイトを経て入職されました。利用者様から「かわいい」「優しい」と声も聞かれており、孫のように可愛がっていただいています。若い2人のパワーをもらいながら、一緒に頑張っていきたいと思っております。

東館特養介護主任 持村由加里

中庭改造計画



館内に中庭がありますが、冬を迎え寒々しい状態でした。利用者様に四季を感じていただくために改造計画をはじめました。利用者様と一緒に種苗店へ行き、花の苗・野菜の種を購入し中庭に植えました。散歩の際に「綺麗に咲いてきたね～」「野菜がどんどん成長してきた」とただ散歩するだけでなく、花や野菜の成長を楽しむことも習慣となっていきました。これからも、四季折々の植物を植えていきたいと思っております。

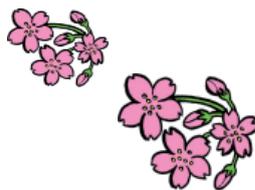
東館特養介護リーダー 福島ゆかり

古代蓮の桜見学

コロナ禍ではありますが、感染対策をしながら古代蓮の里へ外出しました。とても天気がよく、満開の桜や古代蓮タワーを初めて見た利用者様から「あぁ～綺麗だな～」、「いい時にきたね」、「見れてよかったよ」、「大きいな～、こんなのあったんだ」と驚きながら話されていました。

利用者様だけでなく職員もいい気分転換となりました。

東館特養介護職員 奥山富希子



ふぁみいゆ小東風だより

花久の里ひな祭り 2023



2月28日、とても天気の良い日に、「花久の里ひな祭り 2023」に行ってきました。ボランティアの方々に協力していただき、久しぶりの外出ができました。

たくさんのひな人形を見ながら「きれいだね」「可愛いね」と、笑顔で見学していました。見学後には、外のベンチでゆっくりお茶を飲みながら、歌の会が開催され青空の下楽しい時間を過ごしました。

小東風介護職員 前田朋子

タケノコ掘り



4月中旬、小東風でタケノコを頂き、タケノコご飯を作り食べていると、利用者様から「私の家でもタケノコが出て困っているの」とお話がありました。

そこで、タケノコ掘りを企画しました。竹藪の中に入っていき、「ここにあるよ」「掘れたよ」と、汗をかきながら一生懸命収穫しました。

収穫したタケノコは小東風に持ち帰り、利用者様と協力して皮をむいて、あく抜きして煮物とタケノコご飯を作りました。皆様「美味しい」と、旬の味を堪能していました。

小東風介護主任 島崎かね子

お花見



例年より早く「本館の桜が満開になった」との情報があり、ちょっと肌寒い日でしたが、ボランティアの方と本館まで歩いて桜を見に行きました。いつも横になって休んでいる利用者様も、「花見か」と車椅子に乗ってお花見に行きました。桜の木の下で96歳利用者様の歌声がきれいに響いていました。

小東風介護職員 浅見久美子

祝 100 歳



小東風では、毎月誕生日会を行っています。3月の誕生日会では、小東風初の100歳のお祝をしました。利用者様と職員で手作りケーキを作り、歌をプレゼントし、盛大なお祝ができました。

「ありがとう」と、喜んで頂きました。これからも元気で最年長記録更新をして欲しいと思います。

小東風介護職員 坂本泰代

ふぁみいゆケアプランセンター

ケアマネのお仕事

ふぁみいゆケアプランセンターからは、介護保険に関連することをシリーズ化してお伝えしています。今回(第3弾)は、介護支援専門員(ケアマネジャー)の業務についてです。ケアマネジャーは介護を必要としている利用者様の情報を収集・分析し、ケアプランを立てることが主な業務となります。具体的には次のような流れで進めて参ります。

ご利用者様やご家族様からご相談を頂く

ご自宅に伺って、困り事や、ご自宅での様子やお体の状態、ご家族様の構成などお伺いします。ご契約後、ご本人様に合ったサービスの提案と料金の説明をします。

ご本人、ご家族様に了承を頂いた上で、ケアプラン作成とサービス調整を行います。



サービス事業所との調整がつき次第、担当者会議を開催した後、サービスを開始します。

その後も毎月1回はご訪問をさせて頂き、ご本人様の状態やご家族様の状況、サービスが上手く回っているか等を確認します。



当センターでは経験豊富なケアマネジャー6名が従事しています。介護の事でお困りの際はふぁみいゆケアプランセンターにご相談ください。TEL:048-559-4176(直通) 在宅ケア課長/主任介護支援専門員 河野真也

ふぁみいゆデイサービスの暮らし

🍀 ポストコロナで取り組みたい事



5月に入り、新型コロナウイルスは5類感染症へ移行されます。移行後も、ウイルスそのものの特性が大きく変わるわけではありません。ふぁみいゆデイサービスでは今後もマスク、手洗い、消毒などの感染対策を行いながらこの3年間出来なかった外出（お花見や買い物ツアーなど）を行っていききたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

デイサービス 柳川 武

🍀 新入職員紹介



4月からふぁみいゆデイサービスで勤務させて頂いています。早く仕事に慣れて、皆様と笑顔で楽しく過ごしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

デイサービス 田口 美貴

🍀 お花見



ふぁみいゆデイサービスでは3年ぶりに感染対策を行いながら、古代蓮公園にて桜の花見を3日間行いました。久しぶりのお花見外出で大変喜ばれていました。皆さん長い距離も休まず歩く事ができ、デイサービスでのリハビリの成果が見られました。5月には花久の里へバラを見に行く予定です。多くの笑顔が見られるよう今後も利用者様のリクエストを聞きながら計画していきたいと思っています。

デイサービス 松本 千恵



ふぁみいゆ訪問介護



今年度も介護経験豊富、元気と笑顔溢れる職員が利用者様のお宅に伺いサービス提供しております。

利用者様からの「ありがとう」「待ってたよ」の一言は訪問介護職員にとって励みになる

お言葉です。さらに今年度は、医療的ニーズに対応できるように痰吸引の研修等を受講し、介護力を高め、より多くの利用者様のお手伝いができるよう努めていきたいと思っています。

サービス提供責任者 蛭間 理恵

ふぁみいゆ訪問看護ステーション



ふぁみいゆ訪問看護ステーションは、昨年度の立ち上げから少しずつですが歩み始めています。「住み慣れた我が家でできる限り長く生活したい」という気持ちに寄り添い支援しています。

薬の管理に不安がある方には、その方に合わせた内服のセットを、認知機能の低下や筋力低下などの利用者様に対しては、身体を動かすことで頭も活性化され、身体機能が維持できることで在宅生活が継続できるため、運動や自宅周囲の散歩を取り入れ、利用者様のニーズに応えられるよう支援しています。

また、高齢の両親が心配、というご家族の気持ちを大切に、在宅生活の支えの一つになれるよう努力して参ります。「笑う門には福来る」・・・笑う門には笑顔と健康が来てくれると信じ、利用者様もご家族も笑顔になれるよう支援していきたいと思っています。たくさんの笑顔が皆様にあふれるように・・・どうぞこれからも少しずつ歩み始めたふぁみいゆ訪問看護ステーションを暖かく見守っていただければと思います。

ふぁみいゆ看護ステーション 管理者 奥野しのぶ



地域包括支援センター

🍀 はあとカフェ ボランティアさん



はあとカフェを始めて、今年で8年目を迎えます。現在はふぁみいゆ東館の地域交流館サロン柿の木で、毎月、第4月曜日の午後1時30分から午後3時まで開催しています。

今年から、ボランティアさん6名が協力して下さることになりました。地域で様々な活動をしている方々で、とても心強いです。新しい催し物も考えておりますので、是非ご参加ください。お待ちしております。認知症についての相談は包括が受けさせていただきます。

行田市地域包括支援センターふぁみいゆ
管理者 小沢めぐみ

ふあみいゆ文芸

俳句



カエル鳴く田植え近いと気がもめる

湯本芳枝

ふじの花おどっているよにゆれている

中里光子

夕ぐれの中からす飛び交う歸り道

村田つま子

古代蓮さくら満開皆笑顔

木村絹代

小手まりの花誰が生けたかきれいだね

住川八重美

柿若葉天ぶらにしたら美味しそう

寺井房子

祝い膳猫も加わり初かつお

松井美枝子

十葉や二人暮らしの庭静寂

柴崎泰治

古墳超ゆ翅の欠けたる黒揚羽

森田奏子

月満らて舞い収めたり大牡丹

小嶋悦雄

八重椿鉄線も置き花手水

杉田すみ

初虹の紫映える天気雨

小沢めぐみ

サクラ風懐かしの日を連れて来て

斎藤輝子



畦道にゆれて奏でるペンペン草

平社伊津代

憎らしい足元濡らす菜種梅雨

篠崎則子

七十の坂をのぼりて道けわし

相澤春江

新緑にマスク外して深呼吸

藤井尚子

短歌



ふあみいゆのさくら吹雪よいつまでも
旅立ちし兄思い出の歌

中里えり子

子どもが喜びそうな食材で
弁当作る子ども食堂

竹内悦子

早春賦ホールに響く歌声に
わが母の顔に浮かぶ

杉山嘉子

過疎の村くまなく照らす満月を
東京に住む姉と愛で合う

小嶋敏子



地域交流館 サロン柿の木



地域力のすばらしさ！

サロン柿の木の活動はボランティアさんのご協力で推進されています。

サロンが管理している梅っ子農園には、下草を刈ってくださる方、枝を切ってくださる方、切った枝を片付けて下さる方、青梅の販売を担当して下さる方、梅を塩漬けて梅干しを作って下さる方等がおいでです。毎週月曜日、火曜日に行われる「歌いましょう」では、多くのボランティアさんが、利用者様を見守りながら一緒に歌ってくださっています。

将棋教室の指導者、モラ刺繍講座や編み物教室の講師の方々、子ども食堂の料理を作ってくださいの方々、ふぁみいゆ行田及び東館の回廊に素晴らしい絵画を年間を通して展示くださっている月洋会（行田市絵画クラブ）の皆さま、数えきれない方々にご協力をいただいています。

私は地域の皆様にこれほど愛される「サロン柿の木」を誇りに思います。今後ともよろしくお願い致します。
 サロン柿の木 運営委員長 杉田すみ

花植え

東館の花壇にガザニアやサルビアを植え込むボランティアさん。夏から秋、花壇を美しく彩ることでしょう。



花手水



サロン柿の木に立派な火鉢の寄付がありました。野口館長の発案で花手水を始めることにしました。東館の花壇や協力員さんの自宅の庭に咲いた色とりどりの花を水に浮かべ、素敵な花手水になりました。

お抹茶



4/28 増田秀子様とお弟子さんが、琴の音の流れる中お抹茶を立てて下さいました。東館の利用者様と職員の皆で、美味しいお菓子を頂いて、お抹茶の味を堪能させていただきました。



編集後記



みや行事、頑張るスタッフの様子等をお伝えしています。

今号は新型コロナウイルス感染症の大きな節目を迎える春号となりました。

各事業所では感染対策を怠ることなく、新たなウィズコロナに向けて元気に歩み出しています。また、新入職員を迎えた事業所では、若いパワーに背中を押され明るく新年度をスタートさせています。丁度編集途中で「さきたま火祭りのコノハサクヤ姫」がふぁみいゆで暮らしていらっしゃるおばあちゃんを訪ねてこられました。姫のかわいらしい笑顔は周囲を笑顔にしてくれました。素敵な話題でしたので記事を差し替えてお届けすることにしました。

ふぁみいゆだよりは年2回発行し、地域の皆様や施設で暮らす利用者様ご家族の皆様に向けて、利用者様の日頃の様子や各事業所の取り組

ふぁみいゆだより編集委員

ふぁみいゆだよりはホームページからもご覧いただけます→



百歳体操・レッドコード体操



毎週火曜日は、百歳体操とレッドコード体操が交互に行われることになりました。講師はふぁみいゆ東館の藤沼佳奈理学療法士です。普段使わない筋力が伸びて心地良い疲労感を感じます。参加ご希望の方は東館事務所へお申し込み下さい。

毎週火曜日は、百歳体操とレッドコード体操が交互に行われることになりました。講師はふぁみいゆ東館の藤沼佳奈理学療法士です。普段使わない筋力が伸びて心地良い疲労感を感じます。参加ご希望の方は東館事務所へお申し込み下さい。

梅っ子農園



梅っ子農園の枝切りや下草刈り等、管理を怠らないボランティアさんたち。



サロンの活動年間予定

| | |
|-----|------------------------------|
| 月曜日 | 歌いましょう |
| 火曜日 | 歌いましょう 百歳体操 |
| 水曜日 | モラ刺繍講座 (第3) |
| 木曜日 | 休館日 |
| 金曜日 | 健康体操 |
| 土曜日 | カラオケデー (第2・第4) 編み物教室 (第3) |
| 日曜日 | 将棋デー (第2・第4) |

サロンの令和4年4月～令和5年3月の活動参加人数 2496名でした。